

4 児童の「できた!」「分かった!」の質を高める学習過程の一場面 (4 / 4 時)

教師と児童のやり取りの詳細

田の面積ととれた米の重さ		
	面積 (a)	とれた重さ (kg)
A	11	570
B		680

つかむ段階において、2つの数量（面積ととれた重さ）に着目し、米がよくとれた方をどのように調べるのか、見通しをもたせる場面。



今日の問題文で問われていることは何でしょうか？

「米がよくとれたといえるのは、A、Bのどちらの田ですか」ということです。



なるほど。とれた米の重さを比べるといいですね。では、Aの田で、とれた米の重さは何 kg ですか？

570kg です。



Bの田で、とれた米の重さは何 kg ですか？

680kg です。



そうですね。では、Aの田が 570kg、Bの田が 630kg だから、Bの田がよくとれたということでもいいですか？

違うと思います。



どうしてですか。数が大きい程米がよくとれたといえるのではないのですか？

とれた米の重さだけでは比べることはできないと思います。



Bの田の面積が分からないので、どちらがよくとれたのかはいえないと思います。



何が分かると調べることができそうですか？

Bの面積の数です。



Bの面積は $14a$ です。

田の面積ととれた米の重さ

	面積 (a)	とれた重さ (kg)
A	11	570
B	14	680



このようなやり取りを通すことで、一方の数がそろっていないと比べることができないことを確認したり、一方の数をそろえる必要性をもたせたりすることにつながります。
 ・調べる必然性をもたせるために、AまたはBどちらかの田の面積を隠しておくことも有効な方法の一つです。



では、数をそろえるためにはどうしたらいいのですか？

これまでの学習のように「単位量当たりの大きさ」を調べるといいと思います。



では、今日は「単位量当たりの大きさ」を使って、米がよくとれたといえるのはどちらの田なのか、調べ方を考えていきましょう。

・「 $1a$ 当たりにとれた重さ」と「 $1kg$ 当たりの面積」を求める2つの解き方が予想されます。最終的には、前時までと同様に、数が増える程よくとれたといえる「 $1a$ 当たりにとれた重さ」の解き方が分かりやすいことをおさえるようにします。
 ・その際のやり取りは、2 / 4 時目、3 / 4 時目の詳細を参考にしましょう。

確か、単位量当たりの大きさには2つの解き方があったかな。どっちが調べやすいかな。

